

会社の沿革

1910年	(明治43年)	創業者 栗飯原信之助が千葉市吾妻町(現:千葉市中央区中央)において壘(ギヤマン及びガラスビン)、非鉄金属屑、鉄くず、樽、かめ等の回収業として中屋商店を創立。
1979年	(昭和54年)	東金市外三市町清掃組合より、ビン・缶の回収処理を受託する。
	同年	有限会社 中屋總業を設立。栗飯原 益次郎が代表取締役役に就任。
1984年	(昭和59年)	長生郡白子町において「白子カレットリサイクル工場」の建設に着工。
1985年	(昭和60年)	事務所棟、選別設備棟、大貫所棟からなる同工場が竣工。操業を開始。
	同年	同工場の事業活動に対し日本製壘協会より、ガラスビンリサイクル活動のカレットセンターとして認定を受ける。
1986年	(昭和61年)	同工場の周辺開発行為が進んだ為、環境対策工事を実施。
1992年	(平成4年)	同工場に缶プレス設備を増設。稼動を開始する。
1993年	(平成5年)	栗飯原益次郎の退任に伴い、栗飯原啓雄が代表取締役役に就任。
1994年	(平成6年)	千葉県環境衛生推進協議会より感謝状を授与される。
	同年	千葉市一般廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
	同年	業務拡張に伴い、本社所在地を現住所に移転。
2000年	(平成13年)	千葉県一般廃棄物処理施設設置許可(ごみ処理施設(選別・圧縮施設))を受ける。(缶・ビン 白子工場)
	同年	千葉県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
2006年	(平成18年)	会社法の改正に伴い、株式会社 中屋總業に登記変更。
2007年	(平成19年)	東京都産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
2012年	(平成24年)	神奈川県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
2017年	(平成29年)	埼玉県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
	同年	茨城県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
	同年	栃木県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。
2020年	(令和2年)	エコアクション21の認証・登録を受ける。
	同年	群馬県産業廃棄物収集運搬業の許可を受ける。

